

一般会計補正予算

17億7,701万円の増額

平成21年度6月定例会が6月11日から30日までの日程で開催された。一般会計補正予算で17億7,701万円を増額し総額171億2,905万円、その他10議案を原案通り可決した。各常任委員会では一般廃棄物中継センター建設、市立幼稚園保育料、即戦力企業誘致基盤整備、中心市街地活性化事業などについて活発に議論した。一般質問は20人が登壇し市政を質した。



教育委員（4月27日同意）

古川 恭子 氏



教育委員（教育長）
（5月29日同意）

今村 統嘉 氏



古川 敏春 氏

副市長（5月29日同意）

任期満了に伴うもので、それぞれの役職に選任され、議会で同意した。

人事

平成21年5月29日に開催された第3回臨時会で提案され、可決された。

副市長二人体制から一人体制へ

| 区分 | 入園料 | 保育料 | | |
|-------------|--------|-------------|-------------|---------|
| | | 平成22年度分 | 平成23年度分 | 平成24年度分 |
| 平成22年度入園児 | 3,000円 | 1月につき7,100円 | 1月につき8,500円 | 10,000円 |
| 平成23年度入園児 | 4,000円 | | 1月につき8,500円 | 10,000円 |
| 平成24年度以降入園児 | 5,000円 | | | 10,000円 |

合併による保育料統一のため、保育料の額を据え置いていたが、受益者負担の適正化を図るため小城市立幼稚園入園料及び保育料を改正。

小城市立幼稚園保育料を値上げ

池田保幸税務課長が兼務

固定資産評価委員

（4月27日同意）



堤 茂人 氏

監査委員（4月27日同意）

主な事業

一般廃棄物中継センター整備のための調査

（2,458万円）

一般廃棄物の処理を県のクリーンパークさがに委託することにしたため、中継センターを小城町君ヶ坂に新設する。今回は生活環境影響調査、施設造成測量実施設計、見積仕様書作成などが実施される。23年度に完成予定。



▲一般廃棄物中継センター予定地（君ヶ坂）

応急的廃棄物中継センターを牛津に設置

（1億1,387万円）

新設の中継センターが稼動するまでの2年間、応急的に中継するための施設を現在の天山塵芥処理場の一部に整備する。今年度中に完成し来年4月より稼動する予定。

清水滝周辺をバリアフリーに

（1,750万円）



▲清水散策道路入口

小京都「小城」の象徴の一つである、清水の滝への散策道は狭く、法面などには一部危険箇所があるため、清水公民館から清水の滝までの区間の散策道をバリアフリーにし、車椅子の方でも滝まで行けるような道を整備する。

即戦力企業誘致基盤の整備

（655万円）

企業誘致体制の強化を図り、工業適地の選定に努めるなど誘致活動を積極的に展開し、優良企業の立地を促進するための基盤整備。今回は実施設計と地質調査を行う。

スマートインターチェンジ整備のための調査

(800万円)

小城市にある高速道路のパーキングエリアを活用して、ETC専用の出入口を新設し、交流人口の増を図る。今年度は社会実験協議会の開催、詳細設計および用地測量を行う。



▲高速パーキングエリアへの入口(北浦)

芦刈地区まちづくり事業

(7,054万円)

国のまちづくり交付金を受けた事業で、定住人口の増加、交流人口の増加を目標に平成19年度から芦刈地区で取り組んでいる。今年度は実験物販所・農村オープンカフェの調査、三王崎農村公園

のトイレ改修、地域交流センターの耐震診断などを行う。

中心市街地活性化事業

(1,860万円)

小城市中心市街地を、屋根のない博物館構想とまちの駅という新しい概念を導入し、活力と潤いのある「暮らしづくり」を目標とし、多くの市民にとって暮らしやすく賑わいのあるまちを実現。市の顔として小城独自の文化を発信し続ける魅力的で選ばれる都市づくりを行う。今年度は、町屋深川家住宅活用による集客交流施設整備、中心市街地活性化タウンマネージャー設置等。



▲中心市街地活性化の拠点のひとつ 深川家住宅(小城町上町)

乳幼児医療費助成事業

(340万円)

3歳以上就学前児童が医療機関に支払った金額の500円を除いた額を助成するもので、入院時の食事療養費は対象外となる。今年度10月から実施される。

緊急経済対策事業

補正予算4号

平成21年度小城市一般会計補正予算(第4号) 経済危機対策のため、国の平成21年度補正予算が措置され、既定の歳入歳出予算に8億5,701万6千円を追加する。

地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業

(3億9,941万円)

・消防小型ポンプ4台
・積載車4台を更新
・4庁舎のテレビ11台を地デジ化
・公用車のうち18台を低公害車等に更新

・AEDを4庁舎5ヶ所に整備
・河川等の状況確認のためのモニタリングカメラを41台設置

・三日月保健福祉センターにライト付看板設置
・牛津・芦刈保健センターの施設修繕
・用排水路、農道、農業用施設等の補修

・小城市北浦溜池改修のための事前調査
・農地有効利用のための農道舗装、区画整理等

・清水地区の駐車場整備
・市道上右原、峰線道路補修事業
・市道高田・大寺線改良事業

・小城市小鷲ノ原水路整備事業
・小学校施設調査、整備事業

・小城市中学校施設整備
・市民図書館と学校図書館をネットワーク化

・小中学校のパソコンを充実する
・小城市給食センターの配

送車、配膳車を購入
・公立保育園・幼稚園ト

イレ改修
・公立保育園・幼稚園のテレビを地デジ化

・三里、岩松、小城、砥川保育園施設の整備

・三日月幼稚園給食室ブラットホームを改修

・芦刈文化体育館柔道場の畳替

強い農業づくり対策事業

(4億円)

・強い農業づくり対策事業(三日月カントリーエレベーター)

佐賀県ふるさと雇用再成基金事業

(2,637万円)

・ご当地メニューの開発とPR事業

・小城市情報発信番組作成事業

・観光、物産ポータルサイト構築運営事業

・中心市街地活性化基本計画推進事業

佐賀県緊急雇用創出基金事業

(127万円)

・市内文化財整理、活用事業

住宅、建築物耐震改修等事業

(2,070万円)

・小城市公民館、支館耐震診断事業
・牛津体育センター耐震診断事業

小城市病院事業会計

補正3号

地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業

(1,150万円)

・院内トイレ改修事業
・ガス機器設備改修事業

以上、地域の实情に応じた地域活性化等に資する事業を行い、施設整備の前倒し整備や小規模事業の実施により地域経済の活性化や雇用の確保を目指す。

議会運営委員会研修報告

平成21年4月15日、16日の2日間、議会運営などについて調査、研修を行った。

熊本県御船町議会

◎目的

開かれた市議会に向け検討している中、御船町議会は、議会報告会を開催し議会活性化に取り組み、住民参加の町政運営を行う。

◎経緯と状況

平成19年4月、町長に就任された山本氏がマニフェストを軸にした、住民とのミニ集会が行われる中で、住民団体が北海道夕張市、ニセコ町、栗山町、小樽市を町議員が視察したことを知り、議員研修の報告会の実施を議会に要望、議会は町内10ヶ所で開催しこれを機に議会活性化に取り組む。

◎委員の所見

◎当市議会でも報告会開催に向け、協議、検討すべきとの意見。

◎議員間の意見をまとめ、

御船方式の議会報告会を開催してもいいのでは。

◎御船町では、新年度の予算説明書を町民に配布し、それを基に報告会や町民との意見交換が行われている。当市議会でも実施に向け検討すべき。

大分県臼杵市議会

◎目的

議会と市長は市民から負託され仕事を行っている。臼杵市では、市長選でのマニフェストから市長は、市長と議会と市民と市役所との「四位一体改革」を挙げ、市民の役に立つ事業を推進し「いまちをつくる」という共通目的で取り組む。市民参加の市政運営が進められている。

◎経緯と状況

臼杵市長の呼びかけで、議会が政策討論会を設置。市長は議員とじっくり政策について話し合い、合

意を得て進めることが一番大事との考えだ。

臼杵市議会独自の制度で議員が三つの部会（常任委員会）に分かれ、3役と議員が出席し、政策討論会のテーマを選定し討議されている。

◎委員の所見

◎参加メンバーが、市長、副市長、教育長と議員が自由に討論するのは評価でき当議会でも検討すべき。

◎臼杵市議会が主催した「少子化対策と子育てシンポジウム」を開いたことは大変いい。

◎臼杵市が行っている施策評価シート（優先度順）は、小城市でも導入すべきだ。



▲議会運営委員会研修（臼杵市）

議会広報編集委員会研修報告

山口市議会・古賀市議会で研修

平成21年7月1、2日の日程で山口県山口市、福岡県古賀市の市議会の議会広報委員会を視察研修し、議会広報への取り組みについて研修、意見交換を行った。

◎両市とも「市民に開かれた議会」のためには議

会広報の役割は重要であるという認識のもと「わかりやすい親しみのある議会だより」を目指してさまざまな工夫をされていた。

特に各委員会の報告は、所管事務調査が詳細に報告されていて、常日頃の調査活動が活発に行われていることがわかった。

また、全議員を対象としたパソコンやデジタルカメラの講習会を開催するなど、ICTの活用にも積極的に取り組まれ、議会広報の編集作業にも活かされていた。

今回の研修を今後の議会だより作成に活かしたい。

| 古賀市 | 山口市 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●一般質問には必ず写真を各自1枚以上掲載 ●一般質問の見出しをQ&A方式にし、わかりやすくしている ●議案審議について、特に賛否のわかれたものについては、反対討論・賛成討論をまとめ、各議員の賛否を一覧表で掲載 ●平成21年3月定例会での市長の市政方針に対する疑問を初めて実施、概要を掲載 ●常任委員会の所管事務調査について詳細報告がされている ●パソコンやデジタルカメラなどの講習を全議員に呼びかけて実施、原稿はUSBメモリーを活用 ●平成18年2月21日、深沢徹氏を講師に招いて研修会を実施、診査を受けた ●議会傍聴アンケートを実施、それに応える形で「議会Q&A」を掲載 | <ul style="list-style-type: none"> ●パソコンを議員全員に貸与、政務調査費を活用しパソコンの講習を行い、原稿は全て電子メールでやりとりする。 ●審議結果一覧表に会派ごとの賛否を掲載 ●議会基本条例を制定するにあたり、臨時号を発行、素案を発表し広くパブリックコメントを求める ●議会基本条例制定後フォーラム開催、フォーラム資料として号外を発行し議会基本条例について説明 ●平成21年3月定例会より1ページ6段を5段にし、字のポイントを大きくし読みやすくした。 ●裏表紙に「市議会からのお知らせ」議会Q&A」を掲載 ●ケーブルテレビによる議会中継を放映（平成6年6月議会から） |



▲山口市役所にて



▲古賀市議会での研修